

技術の窓

突然ですが、アリストテレスから一言～AIに何を問うのか、何を選び取るのか～

相馬憲一 (茨城大学) 2

特集：自動運転×防災・減災

総括展望	その時、車は人を守れるか!?	伊勢 正 (防災科学技術研究所)	4
	自動運転車は災害にどう備え、どう貢献できるのか —防災・減災を支えるインフラ設計の観点から—	松永昭吾 (横浜国立大学)	12
災害への対応力を 高める!	降雨のノイズに環境を読む——センサの「検知」から次の一手を生む環境の「推論」へ —防災科学技術研究所・大型降雨実験施設での実証研究から—	酒井直樹 (防災科学技術研究所)	18
	大雪時の圧雪路面におけるスタック車両発生メカニズムの解明	藤本明宏 (福井大学)	26
災害に対峙する!	災害時の自動車を用いた情報通信システム (V-HUB) の社会実装の状況と将来展望	千村保文 (沖コンサルティングソリューションズ)	34
	小型自動走行モビリティによる災害時避難支援の可能性について	東 大輔 (久留米工業大学)	44
	SLAM技術を活用した位置情報取得技術「T-iDraw Map [®] 」をタイヤ式工事用車両に導入	中野正晴・丸山 修・中尾勇貴 (大成建設)	52
	水陸両用バスの自動運転技術と防災への応用可能性	渡部大志 (埼玉工業大学) 清水宣光 (NXTech) 和田正義 (東京理科大学) 大久保 達真 (前橋工科大学)	58
次の災害に活かす!	遠隔型自動運転システムにおいて通信遅延が 操作性に与える影響の評価および通信遅延要件の明確化	赤塚康佑・須田理央・百瀬博文 (トヨタ自動車)	64
	令和6年能登半島地震の災害復旧における自動走行技術の導入と評価 ～自動走行と遠隔操作の融合による夜間無人化施工～	飛鳥馬 翼・天下井 哲生・二村峻太・高村忠勝 (熊谷組)	72

Hot Topics

旬な話題を集めました

	高速道路における走行中の間欠充電に適用するバッテリーの耐久試験方法	北条善久 (東洋電機製造)	80
	人と技術が共存する運転環境に向けて—あおり運転に遭遇した経験をもとに—	藤原章正・霧園真大 (広島大学)	86
	安価な顔料による高速・高効率・高耐久な二酸化炭素から一酸化炭素への電気化学変換技術	敷 浩 (東北大学)	92
	生成AIは「蔵人のひとり」——新製品の工程最適化への活用	鈴木健吾 (津南醸造) 畑瀬研斗 (MEMORY LAB)	98
	送風機後流乱流に着目した熱交換器微細フィンの性能向上	井上凌佑 (デンソー)	104
	タグチメソッドを用いたロバストな自動車PID制御システムの設計及び検討	菊田 陸・本山恵一 (Mississippi State University) 田口 伸 (ASI Consulting Group)	110

CONTENTS

超の世界

亀裂形態から迫る粘弾性体の破壊の物理

長滝谷 北斗・小林舜典・垂水竜一 (大阪大学大学院) 作道直幸 (ZEN大学・東京大学大学院) 118

スポットライト

マイクロ波を用いた低炭素リチウム鉱石製錬技術の共同開発におけるパイロット実証の開始

河野和也・西田訓幸・清原健雄 (マイクロ波化学) 120

標準化活動レポート

環境部会におけるガス燃料自動車の標準化活動状況

土屋 彰・谷口芳治・小林秀和 (トヨタ自動車) 城田和彦 (いすゞエンジニアリング) 高瀬繁寿 (いすゞ中央研究所) 124

匠の技

職人技能を未来へつなぐ：板金手加工の難しさと技能伝承 吉野栄祐氏 阿南高志 (トヨタ自動車) 127

学自研活動レポート

2025年度 関東支部学自研活動の紹介 瀬戸川 隆人 (千葉大学大学院) 128

2025年度 中部支部学自研活動の紹介 田中 健太郎 (名古屋大学大学院) 130

技術会通信

会員	132
会議予定	133
報告 令和8年度 文部科学大臣表彰 科学技術賞(開発部門)	137
報告 第20回自動車エンジニアレベル認定	139
報告 2025年度「学生・キッズ向け事業支援金」寄付者	142
報告 2025年度キッズエンジニア運営功績感謝状	142
参加者募集	146

次号特集

水素の社会実装を目指して —2050年カーボンニュートラルへの貢献—

2050年カーボンニュートラルへ。
水素はどこまで来たか。「つくる・ためる・はこぶ・つかう」技術と社会実装に迫る。

乞うご期待!!

今号の表紙

ダイハツ MOVE RS 2WD

30年間、お客様に寄り添い続けてきた「MOVE」が進化。スライドドアを採用し、MOVEらしい動く姿が美しいデザインと基本性能、最新の安全性能、利便性、快適性、お求めやすい価格を高次元でバランスさせました。

車名・型式	MOVE SBA-LA850S
全長	3,395 (mm)
全幅	1,475 (mm)
全高	1,655 (mm)
車両重量	890 (kg)
車両定員	4 (名)
最小回転半径	4.7 (m)
総排気量	658 (cc)
最高出力	47 [64]/6400 (kW/rpm)
最大トルク	100 [10.2]/3600 (Nm/rpm)

JOURNAL OF SOCIETY OF AUTOMOTIVE ENGINEERS OF JAPAN



読者の皆様へ

本誌アンケートのお願い



設問は6問、3分ほどで
ご回答いただけます!

◀アンケートのご回答はこちら

皆様の声をお聞かせください

会誌電子ブックのご案内

- 電子ブックの印刷時は、高解像度版PDFをご利用ください。
- PDFのテキストコピー機能はご利用いただけません。

